



# 市立旭川病院 医療連携NEWS

No.27 2025.3.14

## 血管外科を開設しました

2024年10月1日より血管外科を開設しております。ここ旭川は全国でも高齢化人口の割合が多い地域で、今後血管病患者の増加が予測されています。

市内、近隣地域における血管病に対する質の高い安全な血管診療（予防・治療）を提供できるよう尽力して参ります。

### 血管外科スタッフ

診療部長	内田 大貴	日本外科専門医 日本心臓血管外科専門医 日本脈管専門医 日本血管外科学会 血管内治療認定医
医長	森山 寛也	

## ● 血管外科で取り扱う疾患

当科では、脳、心臓、胸部大血管を除くほぼすべての動脈・静脈疾患に対して診療を行っております。主に動脈では閉塞性動脈硬化症、腹部大動脈瘤、静脈では下肢静脈瘤、深部静脈血栓症、透析用ブラッドアクセストラブルを扱っており、標準治療から低侵襲で最先端の治療が提供できる環境が整っております。

医療連携NEWSでは、今後2回に分けて血管外科で取り扱う疾患をご紹介します。今号は動脈の病気についてご説明いたします。

# ● 動脈の病気

## 閉塞性動脈硬化症

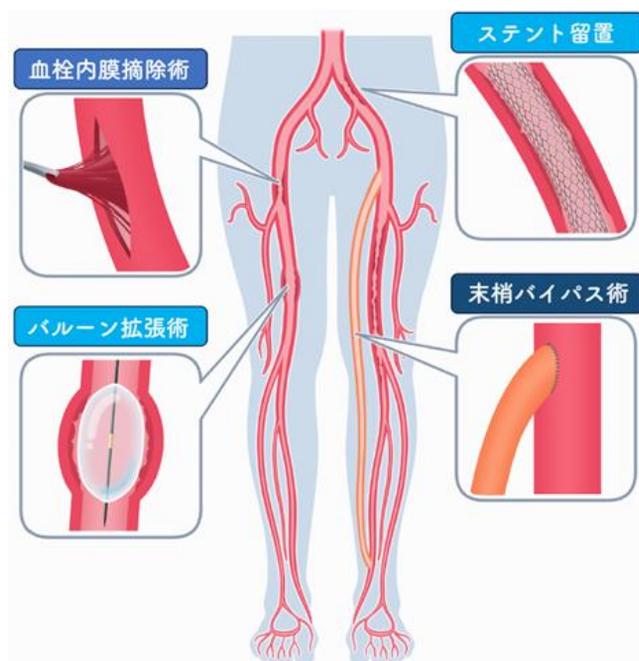
動脈硬化による狭窄や閉塞は、全身の動脈に起こります。腹部や下肢の血管に生じることが多く、下に示す下肢の虚血症状がでる病気を閉塞性動脈硬化症と言います。重要なのは、日頃から高血圧、脂質異常症をはじめ生活習慣病などの動脈硬化を来たす要因（リスク）を減らすことですが、症状があれば、専門外来を受診することで適切な診断に至り、治療を受けることで、より長く元気な足を維持していくことができます。

### 【症状】

- ・ 足先が冷たく感じる（冷感）
- ・ 歩くと足がだるくなる（間欠性跛行）
- ・ だまっていても足が痛い（安静時痛）
- ・ 足指や足部のキズが治らない（潰瘍・壊疽）

### 【こんな治療が可能です！】

- ・ 血管内カテーテル治療  
バルーン拡張、ステント留置、ステントグラフト留置
- ・ 血栓内膜摘除術  
主に股の付け根の動脈が対象です。
- ・ 末梢バイパス手術  
広範囲の血管狭窄が認められるときや、キズが大きいときに行います。主に下腿や足部まで、ご自身の静脈を使用してバイパスを行います。
- ・ 補助療法  
レオカーナ治療というアフエーシス治療（血液濾過）で、末梢循環改善を期待して血液の粘度を調節します。



旭川医科大学外科学講座血管外科の関連施設として、下肢閉塞性動脈硬化症の治療を得意としております。最も重症度の高い下肢虚血にも血行再建を実施し、機能的救肢（歩ける下肢）の維持を目指した治療が受けられます。

## 腹部大動脈瘤

腹部の大動脈が正常の1.5倍（3cm）以上に膨らんだ瘤（こぶ）を腹部大動脈瘤と言います。無症状のことが多く、偶然に見つかることが多いとされ、破裂して初めてわかることもあります。

原因は、高血圧、脂質異常症などの生活習慣病の合併が多く内科管理が重要され、特に喫煙と動脈瘤の拡大は密接に関連しており、禁煙は最も重要で必須です。

日常診療での触診やエコー検査などによって早期発見が可能です。腹部大動脈瘤は自然に、あるいは薬で小さくなることはまずありません。破裂すると致命的となるため、見つかったら血管外科外来への受診をお勧めいたします。

### 【症状】

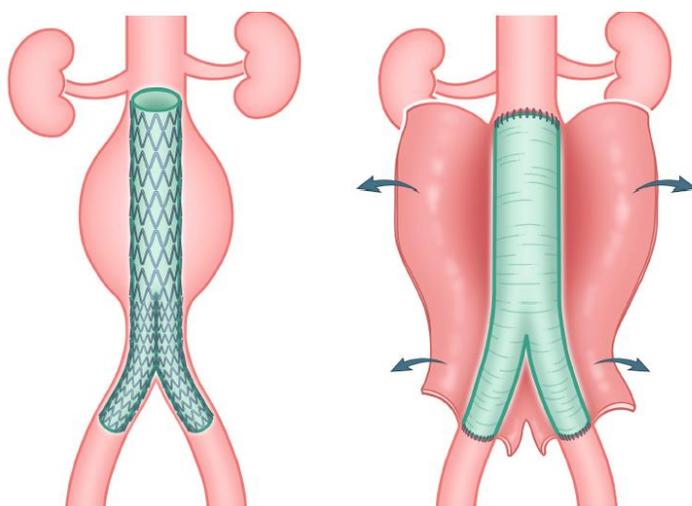
多くは無症状ですが・・・

- ・おなかに手を当てると拍動性のこぶを触れる
- ・腰痛や腹痛、圧迫感

### 【こんな治療が可能です！】

万が一瘤が破裂してしまった場合は、痛みや出血性のショックが引き起こされ、高い確率で生命が奪われてしまいます。破裂する前に手術を行った場合の早期死亡率は1.4～5.1%で比較的良好とされますが、破裂してしまった場合の手術成績はよくないため、破裂する前に診断し、5cmを超えるような時期に適切な治療を行うことが重要となります。

当院では、開腹人工血管置換術と腹部ステングラフト内挿術（EVAR）の2つの方法での手術が可能です。患者様の希望を取り入れつつ、リスクや動脈形状に合わせた最適な治療法を選択し、ご提案いたします。



※次号は静脈の病気についてご紹介いたします。

# 市立旭川病院 『紹介ホットライン』について

- ・ どの診療科に紹介したらよいのかわからない
- ・ 早く診てもらいたい
- ・ 患者の紹介について相談したい・・・

このようなときは、紹介ホットラインをご利用ください。  
専任の医師が対応いたします

紹介ホットライン 電話番号

070-6607-5822

※医師専用ダイヤルですので患者様にはお伝えにならないようお願いいたします

市立旭川病院への患者様のご紹介は・・・

- ① 地域医療連携課を通じて(FAX)
- ② 各診療科の医師に直接連絡
- ③ 紹介ホットラインを通じて

ご都合のよい方法でお申し込みください



市立旭川病院  
Asahikawa City Hospital



YouTube

市立旭川病院紹介動画

